2023年5月



**\*\*\*本プレスリリースは、即時解禁となります\*\*\***

Press Release

**圧倒的なパワーと精度を実現する**

**8381A ポイント・ソース・メイン・モニターを発表**

**2023年5月、フィンランド、イーサルミ……**Genelecは創立45周年を記念し、[8381A](https://www.genelec.jp/8381a/)スマート・アクティブ・モニタリング・システムを発表します。卓越した精度と音場再現、比類なき低域コントロール、広大なヘッドルーム、高解像度のイメージングを融合したAdaptive Point Source™（アダプティブ・ポイント・ソース）デザインによるフロア・スタンディング型スピーカーのフラッグシップ製品です。高品質なレコーディング／マスタリングや、ハイファイ・オーディオのリスニングのために作られた8381Aは、設置された音響環境にインテリジェントに適応する自立型のフルレンジ・モニタリング・ソリューションを提供します。部屋やシステムなど再生環境に依存しない一貫したフルレンジ・サウンドを実現し、ディテイルやニュアンスを演奏者の意図したままに聴かせることができます。オーディオ・プロフェッショナルからオーディオ・ファンまで、様々な用途に満足いただける製品です。

”The Main Ones“レンジとなる8381Aは、受賞歴のある特許取得済みのポイント・ソース・モニター“The Ones”シリーズやW371A アダプティブ・ウーファー・システムで実証された技術を採用。これらを組み合わせることで、低音域までの同軸再生を実現する自立型のフルレンジ・モニタリング・システムを構築できました。それだけでなく、20 Hz～35 kHzもの極めて広帯域にわたる周波数レスポンス、優れた指向性と色付けのないサウンドを音響軸に関わらず実現し、性能そのものがさらに向上しました。さらに約6 kWのアンプ出力により高精度ポイント・ソース・モニターとして最高値となる126 dBという驚異的な最大音圧レベルを実現し、現在入手できるモニター・スピーカーの中でも最新の機能とスペックを備えています。

8381Aは高い音圧レベルを実現するGenelec独自のMDCTM（Minimum Diffraction Coaxial）ミッドレンジ／ツイーター・ドライバーを備え、パワフルなGenelec DSPエンジンと共に、卓越した透明度、イメージング、適応性を提供します。このMDCドライバーは、補完的な役割として動作する4つの5インチ・ドーム・ドライバーと音響軸が同一となるように配置されており、複数のドライバーで中音域を正確に再現します。これらのドライバーが前面に配置された15インチ・ウーファーと連携することで、極めて安定した指向性、コントロール性、一貫性を実現しています。

低域再生能力をさらに強化・拡張するため、W371Aで開発されたLFアダプティブ・テクノロジーによる高性能15インチ・ウーファーが2基搭載されており、室内音響による影響を受けることなく、優れた解像度と最高レベルの低域コントロールを実現しました。このテクノロジーにより、8381Aは室内音響に合わせてパフォーマンスを細かく調整でき、リスニング・ポジションでのよりフラットでスムースなルーム・レスポンス、そして低域イメージングの一貫性を実現します。これにより音響的なノッチが最小限に抑えられ、部屋の壁面、天井、床面での反射や共振によるサウンドへの悪影響を低減することに成功しています。

Genelec[スマート・アクティブ・モニター](https://www.genelec.jp/sam-studio-monitors-subwoofers/) 8381Aは[GLM™ソフトウェア](https://www.genelec.jp/glm/)と密接に連携し、システム全体の設定、キャリブレーション、コントロールが可能です。世界中の数千に及ぶスタジオでの測定データに裏打ちされたGLMを使うことで、リスニング・ルームがサウンドに与える影響を最小限に抑え、ステレオ、サラウンド、多チャンネル・イマーシブなど再生フォーマットや再生システムに依存しない一貫したミックスを作成できます。また画期的な[GRADE™レポート](https://www.genelec.jp/glm/glm-grade/)機能も利用できます。室内音響処理、モニターやリスニング・ポジションの調整、ベース・マネージメントの最適化など、部屋およびモニタリング・システムのパフォーマンスを詳細に分析し、音響的な問題に対する具体的な考察とアドバイスを提供します。

フィンランド・イーサルミにある自社工場でサステナビリティと最高水準の環境責任に基づき設計／製造されている8381Aには、Genelec創立45周年と、サステナブルな発展への総合的な取り組みを記念し、SonicAdvisorTMシステム・キャリブレーション／サービスが付属します。

Genelecのマネージング・ディレクターであるSiamäk Naghianは次のように述べています。

「The OnesとW371Aを組み合わせたシステムに対する皆様の反応からも、自立型のフルレンジ・モニタリング・システムに対する需要があることは明らかでした。またヘッドルームがより広く、低域の伸びが向上した自立型システムを求めるお客様の声があることも理解していました。これまでGenelecは壁面埋め込み型メイン・モニターのラインアップを幅広く提供し続けてきましたが、8381Aのようなフロア・スタンディング型アダプティブ・システムの柔軟性と機動性は、真のリファレンス・サウンドを求める耳の肥えたお客様にとって完璧なソリューションとなると確信しています」

製品に関する詳細は、[www.genelec.jp](http://www.genelec.jp/)をご覧ください。

*\*\*\*以上\*\*\**

**Genelecについて**

1978年の創立以来、Genelecはプロフェッショナル・スピーカーをビジネスの主軸としてきました。研究開発への飽くなき取り組みが革新的な技術を生み出し、Genelecはアクティブ・スピーカー業界を牽引する存在となりました。創立から40年以上経過した今でも、Genelecのスピーカー製品は当初の哲学を忠実に守り、サイズに関わらず信頼性の高いニュートラルなサウンド再生と、リスニング環境の音響条件へ適応する機能を提供します。Genelecユーザーは、音響的なアドバイスやキャリブレーション・サービス、テクニカル・サービス、そして長い製品寿命など、最高のサポートを受けることができます。Genelec製品の購入は、オーディオ再生システムに対する長期的にご使用頂ける堅実な投資となります。

**お問い合わせ先:** 株式会社ジェネレックジャパン ｜マーケティング

電話番号: +81(0)3 6441 0591  email: [press@genelec.jp](mailto:press@genelec.jp)